

## バイオスタウン構想分析DB

[【リンク】あきる野市バイオスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )
		公表回	公表年月日				
7	2005.11.30			東京都	あきる野市	80,096	73.34
構想の要約		未利用の林地残材を利活用し製品化するとともに、その端材等を燃料にバイオマスボイラーやスターリングエンジンによる乾燥、発電等を行う。これにより、循環型社会の実現、地域の活性化などを目指す。					
構想に盛り込まれた事業		①木質バイオマスボイラーやスターリングエンジン設置・運転 ②木質系燃料(端材、樹皮など)の供給体制を稼働、製炭の実用化 ③焼杉板や炭の生産・利活用					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物		稲わら・もみがらなど		資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部		
食品廃棄物		間伐材・林地残材	○	
廃食用油		果樹剪定枝		
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材	○	その他(                      )		
建設発生木材				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草				
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など				
その他(                      )				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(セルロイドの原料)	○	炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	
		その他(                      )	

バイオスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

## バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

### (1) 利活用目標

間伐による林地残材4,827トンのうち、2,900トンを利用する。このうち、約2,480トンを焼杉板に加工しエコハウス用の内外装材としてのあきる野ブランドの確立及びエコハウスへの導入促進を図るとともに、加工過程から発生する端材や樹皮420トンを木材乾燥用のボイラー及び発電用のスターリングエンジンに利用する。

これによって、地域の未利用バイオマスの平成21年度における目標利用率を60%とするものである。2,480トンの焼杉板は、住宅戸数にして約2,000戸分の内外装材の量になるが、これは、多摩地域(総人口約400万人)の世帯数が約170万世帯、また、持ち家数が約65万戸であることから、それぞれの0.1%と0.3%に供給できる量に相当する。

また、地域から出る森林系バイオマスである既存の製材所からの残材(樹皮、端材)の年間排出量1,554トンのうち、約1,100トンを効果的に温浴施設の熱源、発電に充てることにより、地域の廃棄物系バイオマスの利用率の向上を図る。

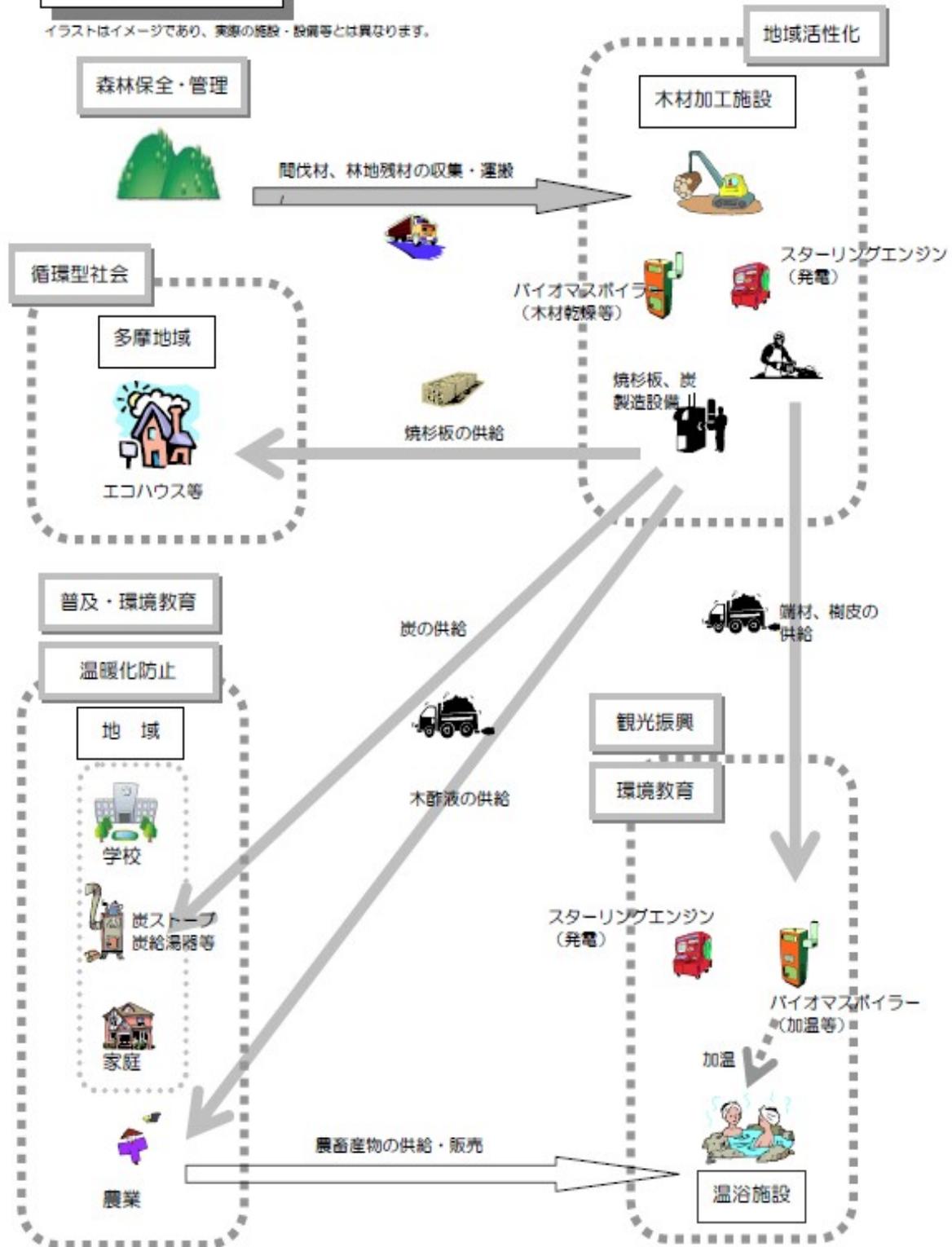
さらに、製炭と地域における炭の利活用により、地球温暖化防止への取組を地域から発信する。

# バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

## システムフロー図

イラストはイメージであり、実際の施設・設備等とは異なります。



## 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)